

えいよう

通信



SDGsに取り組む！

昨年も夏に行われた全国栄養士大会や冬の栄養サミットでも耳にした【SDGs】ですが、我が家の次女は中学生ですが、授業でも勉強した様です。【SDGs】とは**持続可能な開発目標**の事で、2030年までにより良い世界を目指す国際目標です。17のゴールと169のターゲットで構成されており、先進国でも発展途上国でもない境界のない普遍的なもので、日本の外務省も積極的に取り組んでいます。



更に多くの企業も様々な形でこのSDGsに取り組んでいるようですが、我が家の次女は学習の最後に『企業が単なるイメージアップとか、投資家の投資の条件になるからとか、消費者の信用を得るためだけで取り組むとか、そういう事はやめて欲しい。地球とか世界中の人達にとって良い事をどうやって取り組むのか、ちゃんと説明して、守って欲しいと思った。』と学習の感想を綴っていました。

しっかり考えているんだな〜と。びっくりしました。私達南部厚生病院栄養科では、令和3年度の部署活動目標の1つに**食材ロスを削減する**と掲げました。食材料の発注予備人数を減らし、取り組み前後で約7%の費用及び食材ロスの削減を実行しました。今後も更に追及したいと思います。(*~)v



最近、父親がしきりに『ぼっくり逝きたいなあ〜アハハ〜』と訴えています。今年80歳で何の薬も飲まずの健康体の父です。毎朝3時半に起床（朝と言うよりも夜中ですが…(≥▽≤)、4時から5時半までインターバルウォーキングで1万5千歩！6時前に朝食、新聞を読み7時頃に昼寝ならぬ朝寝(-_-)zzz。そんな自由な生活をしつつ、健康に気を配っているのだから、出来れば苦しまず、寝たきりにならず、ウォーキングの途中でぼっくり逝きたいとの事なんです。更に詳しく聞けば、オムツは嫌、胃ろうも点滴も絶対に嫌だと。延命処置お断りとの事でした。頑固だ…(≥▽≤)

母は、父の2つ下の78歳。これまで腰椎圧迫骨折や膝の痛み、高血圧等でドクターのお世話になってきていますが、父と同様にオムツも胃ろうも点滴もお断りだそうです。この二人の意向を聞き、私、思い出しました。以前、私と同じ年の友人が、『親の面倒は見るよ。ちゃんと看取るって決めている』と話していた事を。当時はそう断言出来るって凄い人だなあ〜って思っていたのですが、最近、自分に何が出来るのだろうか？何をしとあげられるだろうか？と考え始めました。

その様な事を考えるようになった時、『ユマニチュード』という主に認知症の方へのアプローチの手段がある事を耳にしました。ユマニチュードには4つの柱、見る：話す：触れる：立つと、5つのステップというものがあります。基本となっている考え方は、ただ単に介護するのではなくその方の【人間らしさ】を尊重する事を重視して、突き詰めるならば「人とは」を問う学問であるとも言える様なのです。詳しくは、「家族のためのユマニチュード」等の著書をご参考になさって頂ければと思います。このアプローチは認知症の方に限らず、人が人として、人に関わる時に必要なものなのかな〜と、私なりに解釈しました。

こう言った事を日々実践している介護職の皆さん、看護師の皆さんには脱帽です。機会があれば色々ご教授をお願いしたいです。今月はエピソードのえいよう通信となりました。たまにはこんなのも「あり」とさせて下さい！ 寒い日が続いておりますので皆様ご自愛くださいね。

小林